

【第3巻/P.2 左上】

新しい政治を行うため、桓武天皇は天武天皇の皇統の都で仏教の力が強い平城京からはなれることを決意したんだ。784年には現在の京都府南部にある長岡京に都を移したが、不吉な出来事が続いたため、長岡京北東に平安京を造り、新しい都としたんだよ。

【第2巻/P.57 右上】

これから高句麗を攻めるのに今倭国と争うのは得策ではありません

【第1巻/P.185 右上】

いいから埴輪を並べろよ

【第1巻/P.182 左下】

当時の古墳には埴輪という素焼きの焼き物が置かれていた。

角川まんが学習シリーズ
『日本の歴史』訂正箇所

『日本の歴史』公式サイトの「お詫びと訂正」ページにある正誤表をご確認のうえ、貼付ください。

【第1巻/P.6 下】

仙道古墳 (福岡県朝倉郡筑前町)

【第4巻/P.137 左下】

近衛天皇 (九男)

【第5巻/P.207 左下】

後醍醐天皇が幕府に任せて死んだ後

【第4巻/P.104 中】

白河法皇が始めた院政という仕組みは、鳥羽上皇から後白河上皇とその後百年以上も続き、

【第3巻/P.30 1コマ目】

しかし七八〇年長年の朝廷の支配に不満をいだいていた蝦夷の族長伊治皆麻呂が反乱を起こした。

【第2巻/P.154 右上】

今の問題は唐にならって造った和同開珎がなかなか使われないことです

【第2巻/P.39 左下】

【第1巻/P.115 左上】

中国の歴史書『漢書』地理志には紀元前一世紀ごろの日本については朝鮮半島北部には楽浪郡がある。楽浪郡の海のはるか向こうには倭という民族がいて、百以上の国に分かれている...とある。

天乞山古墳 (滋賀県東近江市)

【第2巻/P.63 下】

回復をお祈りして釈迦三尊像を造らせております
出来上がったら法隆寺に納めていっしょにお参りしましょう

【第2巻/P.135 左上】

【第7巻/P.126 右中】

領主の地位をゆずるとしない小麿が鹿嶋を攻め

【第7巻/P.126 左中】

小麿が鹿嶋を攻めるといって今川氏の当主とした。

【第5巻/P.110 左上】

こうして義経は死に頼朝はこの後大軍で奥州を攻め落とし泰衡も死んだ。

*隋：中国の王朝分裂していた中国を五八九年に統一した。

【第5巻/P.53 中左】



【第4巻/後ろ見返し右 中段】



おお!

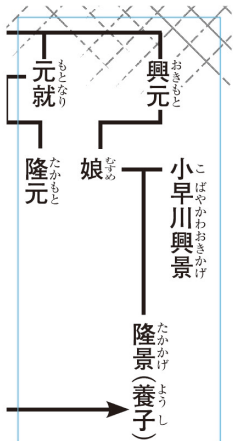
【第4巻/P.113 中】

鳥羽法皇

【第5巻/P.207 左上】

さらに先代の天皇後深草上皇に照仁親王と皇子がいたにもかかわらず

【第7巻/P.148 左上】



【第7巻/P.134 左下】

氏親にとつて早雲は伯父であり

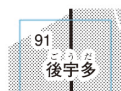
【第7巻/P.124 左中】

それならば同じ今川一族である小麿が鹿嶋に継いでもらうのがよいのではないかと

【第5巻/P.196 上中】



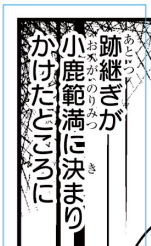
【第5巻/P.208 中】



【第8巻/P.172 左下】

わしの死後拾が確実に跡を継げるような仕組みをつくることにした...!

【第7巻/P.124 左下】



【第7巻/P.6 右中】

応仁の乱以後、時代は各地の戦国大名が争う乱世となっていたよ。

【第5巻/P.171 左下】



【第5巻/P.223 左中】

一遍が時宗を開く
元(げん)の軍が九州北部に攻めよせる(文永の役)

【第8巻/P.173 左中】

家康殿は律儀な男じゃ拾をもち立ててくれるに違いない

【第8巻/P.68】

*一乗谷：現在の福井県福井市にあった朝倉氏の本拠地。

【第8巻/P.173 右上】

おぬしをふくめ五名にたのむ

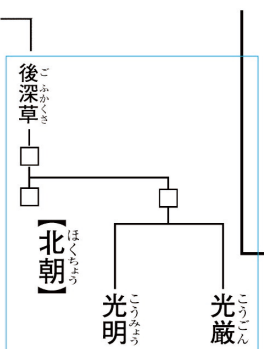
【第8巻/P.160 左下】

利休と親しい細川忠興などが必死に助命を嘆願するが

【第7巻/P.125 中】

小麿殿が代行されるのが道理ではないでしょうか!

【第6巻/P.119 左下】



【第7巻/P.11 下】

応仁の乱により、幕府や守護大名の力が弱まり、下の者が上の者にうち勝つ「下剋上」が起こりはじめる。

【第8巻/P.174 上】

一五九六年
拾は四歳で元服
豊臣秀頼となる。

【第9巻/P.7 左中】

江戸幕府が直轄領の長崎において
奉行所を、長崎奉行が治めたんだ。
出島のすぐそばにあって、オランダ
や清との貿易の管理もしていたよ。

【第9巻/P.154 左下】

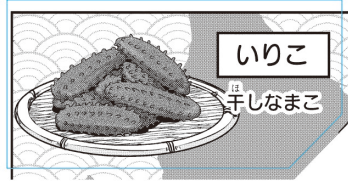
【第9巻/前見返し】

しゅういんせんぼうまき
朱印船貿易

【第9巻/P.2 右下】

ひろさ
広さは約115万㎡!

【第9巻/P.170 中】



【第9巻/P.171 左上】

にしき
エソ錦

【第9巻/P.5 下段】

とうしょうぐう ぜんこく
東照宮は全国にある!

家康を祭っている神社を「東照宮」というよ。
家康は、自分の遺体は久能山(静岡市)に埋葬
し、一周忌を過ぎたら日光に神として祭るよう
に遺言したんだ。久能山東照宮は秀忠、今の日
光東照宮は家光によって建てられたものだよ。

【第11巻/P.64】

一八五三年
六月三日
浦賀(神奈川県)

【第10巻/前見返し/田沼意次】



【第10巻/P.2 右上】

平安時代の「伊勢物語」を題材にした尾形光琳
の作品。金箔の屏風に、青と緑だけでえがいて
いるのに、奥行きを感じさせる技術もすごい!
国宝に指定されているよ。

【第11巻/P.96 左下】

ふくい はんしゅ
福井藩主
まつひら けいなが
松平慶永(春嶽)

【第11巻/P.66 右下】

うら が おんぎょう
浦賀奉行
とだうしんがく
戸田氏榮



【第12巻/P.182 左下・右中】

【第10巻/P.20 左上】

産業の中心は米だったが
農家では木綿・紅花などの商品作物が作られ
漁業・林業・酒造業・製紙業・織物業・
金物業なども発達した。
それらは各地の特産品として
全国に行きわたった。

【第10巻/P.61 上】

なんでも
儒学を重んじる
荻生徂徠って家臣の
助言があったんだと

【第10巻/P.217 左下】

ひゃくしやう
百姓
約84%

【第11巻/P.86 左下】

アメリカに続き
ロシア・イギリス・
オランダとも
同様の条約を結び

長く続いた日本の
鎖国の時代は終わった。

【第11巻/P.166 上】

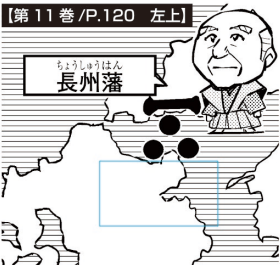
いしだみつなり
石田三成

とくがわいさやす
徳川家康

【第11巻/P.101 右下】

まつだいら ながとま
松平慶永様
には隠居を
命じられたとか

【第11巻/P.120 左上】



【第11巻/P.122 右下】

一八五九年十二月
水戸藩

【第11巻/P.3 中】

1837年、何も手を打たない大阪町奉行
におこった大塩は、弟子たちとともに反
乱を起こしたよ。反乱軍は、じよじよにふ
くれ上がり、総勢300名に。「救民」の
旗をかけた戦ったが、半日でしめられ、
大塩は自殺してしまったんだ。

さらには一八七六年には
イギリスやアメリカが
領有を主張していた
小笠原諸島の
日本領有が確定。

1875年国境画定
樺太・千島交換条約締結

明治初期の
日本の国境線

1876年国境確定

1879年沖縄県設置

外交にはげむ日本は
あいついで
諸外国との国境を
定めていった。

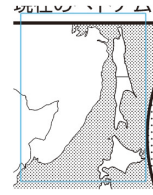
【第15巻/P.216 左下】

足踏み式のハジミンだめ

【第15巻/P.5 左下】

▲電気自動車

【第15巻/P.33 上】



【第13巻/P.40 左上】

華族に爵位を与え
公・侯・伯・子・男の
五爵を定めた。

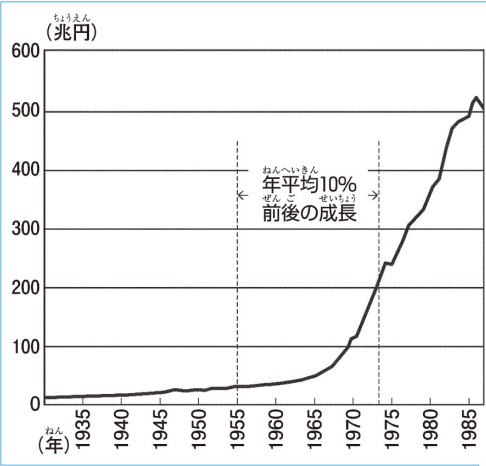
【第13巻/P.81 左】

*澎湖諸島は台湾の西方約五十里に位置する島しま。

こうしてできた明治政府は、倒幕の中心となった薩長土肥の藩士たちが主導権を握ります。条約改正のため岩倉使節団が欧米を訪問している間、西郷隆盛を中心とする留守政府は、学制・徴兵令などの改革を進めていき、朝鮮への出兵を検討していました。帰国した岩倉使節団は、内政優先を唱え、朝鮮への対応をめぐる征韓論争が起こり、西郷たちは政府をはなれます。

【第12巻/保護者の方へ 中】

【第15巻/P.123 左上】



【第14巻/P.183 左下】

三月
日本は国際連盟脱退を
正式に通告した。

その後も
一九五〇〜七三年
までの間
年平均10%前後の経済
成長をとげた。

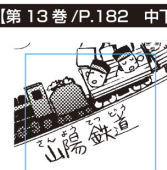
【第12巻/P.165 右上】

板垣たちは
「民権議院設立の建白書」を
提出し

【第12巻/P.145】



【第12巻/P.203 左上】



【第14巻/P.56 左上】

【別巻まるわかり図鑑/P.179 下】

医学の発展に大きな功績を残した細菌学者。1歳半のころ左手に大やけどをする。アメリカで研究し、多くの病原体を発見するが、アメリカで研究中の黄熱病にかかり亡くなった。

【第16巻/P.219 上段】



【別巻まるわかり図鑑/P.200 下段】

【第14巻/P.180 中下】

日本の魔法のような「陰陽道」という不思議な術で、藤原道長などにも仕えたという安倍晴明の屋敷跡に建てられた神社。境内にある井戸は、病気を治すといわれているよ。

いま
撃った男を
連れてこい…
よく話して
聞かすから…



【第14巻/P.192 中】

【第14巻/P.156】

*1925年、ファシスト党の独裁政権が成立。

*第16代首相も務めた。

【第14巻/P.32 下】

【第14巻/P.197 左上】

*軍閥…軍隊を背景に政治的権力を手にした軍上層部の勢力。

*侍従…宮内省の一部局で、天皇・皇后の側近として事務をつかさどった。

【第16巻/P.215 下段】

【別巻よくわかる近現代史 第1巻/P.222 上】

【別巻まるわかり図鑑/P.181 上段】

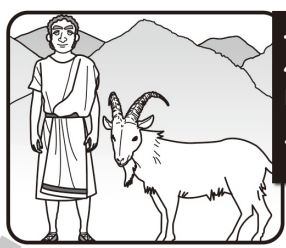
一九二九
10
世界恐慌が起こる。

いとうや市川房枝らは女性の参政

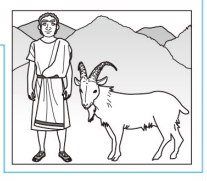
2問目 世界最古のマスクと考えられる古代ローマのマスクは何のために作られたもの？

【第16巻/P.218 上段】

マスクの材料は
山羊のぼうこう!?
古代ローマの鉱山労働者たちは山羊のぼうこうを使ったマスクで粉塵をよけていた。



古代ローマ



【第16巻/P.218 下段】

その名も「呼吸器」